

鳥取 YEG 通信

TOTTORI YOUNG ENTREPRENEURS GROUP



発行:平成31年3月15日
鳥取商工会議所青年部
総務広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

3

March 2019

■平成30年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 杉内 勝成
有限会社 杉内

春風の候、会員企業の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から言い習わされてきました。近年は地球温暖化の影響もあり、季節感が少し変わってきた気もいたしますが、そろそろ桜前線も動き出します。今年も「因幡千本桜の園」に笑顔と笑い声があふれますように、穏やかな春の時間が長く長く続くことを願います。

さて、今年度ラストとなるオープン委員会を2月7日、8日に開催いたしました。7日は、ビジネス創造委員会による「OB交流パネルディスカッション・交流会」を開催。第一部のパネルディスカッション、第二部の交流会ともに大変な盛り上がりで、OBと現役会員との距離が近くなるのを感じました。8日は、会員交流委員会による「会員交流eスポーツ大会」を開催。eスポーツとはエレクトロニック・スポーツの略称で、コンピュータゲーム上で行われる競技のことを指します。今秋に茨城県で開催される第74回国民体育大会において、「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2019 [BARAKI]」が開催されるなど、全国的にも注目を集めています。両事業とも次回開催を期待する声が多く聞かれ、私自身も楽しみにしております。

また、2月例会では各委員会による本年度の活動報告会を行いました。それぞれの発表を見ていますと、一つ一つが記憶としてよみがえると同時に、例年にならぬ事業数の多さに、あらためてメンバーに対する感謝の気持ちでいっぱいになりました。すべての委員会が各基本方針のもと特色ある事業を執行し、手前味噌にはなりますが、どの事業も青年部らしく素晴らしい事業だったと思います。そして、本年度事業も残りわずかとなりました。3月16日の鳥取商工会議所青年部創立40周年記念大会の開催、3月29日の3月例会（送り出し例会）では、本年度を締め括るとともに、8名のご卒会者を送り出し、3月末には政策提言書を行政へ提出いたします。青年部一同、最後まで力の限り活動させていただきます。

一年間にわたり会長として、会員企業の皆様には大変お世話になりました。未熟な点や至らなかつた点など多々あったかと思いますが、皆様からの温かいご支援ご協力により、無事任期を満了する事ができます。また、私を支えてくれた鳥取YEGメンバーには感謝の言葉しかありません。一年を振り返ると、大変なこととたくさんありましたが、それ以上にやりがいと楽しさを感じる事ができました。鳥取YEGの会長という役職の重さも実感いたしました。行政や外部団体との会議や懇談会にも数多く出席し、会長でしかできない貴重な交流や体験もさせていただきました。この素晴らしい経験を次の世代へと伝えていきたいと思っております。本年度の鳥取YEGの活動を支えていただきました会員企業の皆様、関係各位の皆様にご心より感謝申し上げます。平成30年度会長としての最後のあいさつとさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

2月例会

日時 平成31年2月13日(水) 19:00～21:00
場所 鳥取商工会議所 大会議室

2月13日(水) 19時より鳥取商工会議所大会議室において、2月例会を開催しました。杉内会長のあいさつの後、石畑次年度会長から次年度の委員会構成について、委員会テーマ、担当役員、委員長、副委員長の発表がありました。この時点ではまだ各自の委員会に属するのかわかっておりませんが、次年度に向けた動きも徐々に進んでいます。

その後、今年度の委員会活動報告が各委員長から行われました。各委員会持ち時間15分程度と短い時間ではありましたが、非常に内容の濃い報告の場となりました。また、それぞれ工夫を凝らした報告で、一年間の各委員会の活動がよくわかりました。この報告を聞き、あらためて鳥取YEGはさまざまな事業を行い、地域へ貢献しているんだ、ということを感じるとともに、この地域にとつて鳥取YEGがなくてはならない存在であり続けなければならないと感じました。各報告の後には委員会メンバーが前に整列してあいさつがありました。皆さんそれぞれ一年間の活動を思い出しているようでした。

徐々に次年度に向けて動きはじめる時期であるとともに、まだまだ今年度の活動も残っています。3月16日の創立40周年記念大会など、大きな事業もありますので、メンバー一同全力で活動していきます。引き続き皆様の温かいご支援とご協力をよろしく願います。

総務広報委員会 中西康裕



杉内会長挨拶



委員会報告の様子

OB交流パネル ディスカッション・交流会

2月7日(木) ビジネス創造委員会のオープン委員会として栄町のカフェソースバンケットにて、「OB交流パネルディスカッション・交流会」を開催しました。

当日は、OB・OG・一般から43名、現役メンバー42名にご参加いただきました。

一部はパネリストディスカッションとして、中心市街地で商売をしておられる歴代会長である瀧本OB、藤谷OB、阿部OB、桶谷OB、谷本OBをパネラーに迎え、「中心市街地から見たYEG」をテーマに意見を話し合っていました。

現役メンバーの今後の活動のヒントになるようにと開催したこのパネルディスカッションですが、現役当時の話や中心市街地での商売の現状などさまざまな意見を聴くことができ大変有意義な時間となりました。

また、二部の交流会では、OB・OGの皆様におかれましては現役当時の話を咲かせ、同窓会のような雰囲気の中で現役メンバー・一般参加者とともに大変楽しい時間を過ごすことができました。

ビジネス創造委員会委員長 山中慎也



パネラーの皆様



パネルディスカッションの様子

委員長所感

総務広報委員会 委員長 谷口 里江

委員長を拝命させていただいて、早いもので一年がたとうとしております。私自身、初めての委員長で慣れない所ばかりで委員会メンバーには頼りない所をお見せし、残念な気持ちにさせてしまったかと思っております。それでもこの一年、委員会メンバーに協力していただきながら一緒に、ゴールへ近づけることができました。

5カ年計画の桜植樹事業では、3年目となる本年度、松保保育園の園児の皆さんと一緒に植樹を行うなど、初めての試みなどにも挑戦させていただきました。委員長をさせていただきましたことで、さまざまな経験をし、周りの方々への感謝の気持ちを多く持つことができ、人として少しは成長できた良い一年となりました。

政策提言委員会 委員長 中崎 雄一

今年度の活動では、全国さまざまな場所に行き、多くの方々との出会いがありました。

8月には富山で行われた「郷創塾」で全国の政策提言活動がされているYEGメンバーと、9月には東京で鳥取に関心のある首都圏の方々と交流しました。そして、提言に向けた調査の一環として12月には岡山、1月には福井に行き、岡山YEG、福井YEGのメンバー、そして福井市の職員の方々から各地の実情についてうかがいました。

そして何より活動してきた委員会メンバーとの出会いです。現在今年度末に提出する政策提言書を作成している最中であり、まだ委員会活動が終わったわけではありませんが、委員会メンバーの協力や支えがあったからこそ楽しく活動できたと感じています。1年間本当にありがとうございました。

会員交流委員会 委員長 常村 修

一年間会員交流委員会委員長を務めさせていただきました。

本年度は、主に3つの交流事業を行いました。5月部会交流事業では、日頃機会が少ない同部会同業種内の会員間交流を図りました。8月納涼祭では、準ラボを会場に会員のご家族をお招きし、夏祭りの演出の中で日頃の感謝の気持ちを伝えました。2月オープン委員会では、初のeスポーツ大会を開催し、特に入会から日が浅い若手会員に活躍の場を提供することができました。

力不足を痛感することの多い一年でしたが、今年度積み重ねた小さなチャレンジから得た経験を委員会メンバー一同、今後活かしていきたいと考えています。当委員会の活動にご協力いただいた皆様から感謝を申し上げます。

ビジネス創造委員会 委員長 山中 慎也

委員会として「会員ひろば」の有効的な活用を目標に、5月例会前の「会員ひろば」に出店いただきたく企業を積極的に声掛けしました。それが6月の「拡大版YEGひろば」そして10月の大規模な出店型事業「産業会館フェスタ」へとつながりました。

当委員会は、アイデアが出たら「とにかくやってみる」「やりながら完成度を上げていく」ということが自然にできていたように感じます。そして、1年という短い期間の中で、講師例会、講師オープン委員会などのセミナー系事業、企業取材、会員ひろば、フェスタなどのビジネス紹介・交流、OB交流事業などさまざまな事業を行うことができました。全て委員会が一丸となり達成できたものと思っております。1年間ありがとうございました。

鳥取まち興し委員会 委員長 富田 光政

当委員会は、5月に「袋川こいのぼり撤去」から始まり、「鳥取まちなかコミュニティプレイス事業」「しゃんしゃん傘踊りへ参加」「お城まつり時代行列へ参加」「袋川除雪作戦」12月例会「クリスマス家族会」6つの事業を行いました。年度当初から取り組んだ「鳥取まちなかコミュニティプレイス事業」では、鳥取城北高校の皆さんと協力し、大きなプロジェクトを完成させました。

初の委員長を受けさせていただきました。あつという間の1年間でした。私自身、足りない部分もたくさんあり、委員会のメンバーに迷惑をかけたことでもあります。この1年間事業を通じて、まちのために活動を行って得たものも多くありますが、なかでも委員会メンバーとのつながりや絆は、かけがえのないものだと思っております。

逃げ出したいとき、迷ったとき支えてくれた委員会メンバーの皆様、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

40周年☆企画実行委員会 委員長 荒田潤之介

「絆を結ぶYEG」のスローガンのもと、創立40周年記念事業として、星取県推進事業である「湖山地グランドピングパーク」・「世界初の遠投大会」第2回強肩王決定戦の企画運営を行いました。県外の方も多数ご参加いただいたこの二つの事業は、YEGメンバーをはじめ、多くの方々の「絆」と「友情」を強く感じる事業となりました。皆さまのお力添えにより無事、事業を終えることができました。本当にありがとうございました。

また創立40周年記念大会には、鳥取YEGメンバーはもとより、多くのご来賓OBの皆様をはじめとして、他の青年経済団体の皆さま、さらに全国他単会のYEGの皆さまから出席のご返事をいただきました。誠にありがとうございました。次年度もより一層、鳥取が輝く地域になるため、さらに邁進して参ります。1年間、本当にありがとうございました。